

子どもの感性を育むまち



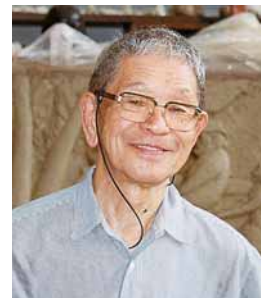
すくすくと育つ子どもたちは、限らない可能性を秘めています。その子どもたちが、心身ともに健康に成長し、豊かな人間性や他人を思いやる心を培うためには、芸術・文化、自然などに親しみながらさまざまな経験を積み重ねていくことが大切です。

そこで市では、芸術・文化、自然を身近に体験できる環境を整え、子どもたちが将来に夢や希望を持って成長していくための取り組みを進めています。

今回の特集では、子どもたちの豊かな心を育むための活動を行っている施設や、市の事業などについて紹介します。

佐藤忠良記念 子どもアトリエ

〔詳細〕
市民文化課 ☎211-2261



さとう ちゅうりょう
佐藤忠良
(1912年-2011年)

人物彫刻を追求した、日本を代表する彫刻家。宮城県に生まれ、13歳〜20歳を札幌で過ごした。美術の教科書や絵本を数多く手掛けるなど、子どもの教育分野の活動にも力を注いだ。

見て、触れて、表現する—— 森の中の小さな体験型工房

9月でオープン5周年を迎える佐藤忠良記念子どもアトリエ。南区の芸術の森野外美術館内にあるこの施設は、子どもたちが優れた芸術作品に親しんだり、自らも表現したりすることを通して、豊かな感性を育てるために開設されました。

木の温もりあふれる館内では、札幌にゆかりが深く、子どもの造形教育にも力を注いだ彫刻家・佐藤忠良の作品にじかに触れられるほか、粘土での作品制作や鑄造体験など「つくる」ことの楽しさを味わうことができます。



つくる 創作体験ができるワークショップ・ルーム

粘土を使った彫刻や、スズ合金を使ったキーホルダーなど、子どもが自由な発想で作品作りを楽しむことができます。

体験しました！

粘土を力いっぱい伸ばしたり、ひねったり。大自然に包まれたアトリエでの体験に、娘もすっかり芸術家気分。想像力を働かせて作品が出来上がっていくことへの喜びを、親子で体感することができました。

みやざき
粘土彫刻を制作した 宮崎さん親子



さわる 生き生きとした彫刻の形を手で感じよう！



家族や子どもをモチーフにした、佐藤忠良の彫刻やデザインなど40数点を展示。彫刻作品には触れることもできます。



ひまわり 1965-94年

忠良の友人の娘がモデル。あどけない表情でひまわりの花を持つ姿に、忠良の深い愛情が感じられる作品。

アトリエスタッフから

芸術の楽しさを 知ってほしい

ささき しおり
佐々木 汐里さん



子どもたちに気軽に芸術に触れてほしい。そんな佐藤忠良さんの思いを形にしたのがこの施設です。作品に触れたり、自分でも創作したりすることで、芸術の楽しさを知ってもらいたいですね。

市の取り組み

ハローミュージアム

豊かな感性を養うための取り組みとして、小学5年生を学校単位で子どもアトリエなどに招待。鑑賞の仕方を学んだり、作品を制作したりする機会を増やしています。



佐藤忠良記念子どもアトリエ

所在地 南区芸術の森2(芸術の森野外美術館内)

開館時間 9時45分〜17時30分(6月〜8月)

休館 11/4〜翌4/28の月曜、年末年始

観覧料 700円(野外美術館の観覧料を含む)

駐車場 650台(普通車500円)

交通機関 地下鉄南北線「真駒内駅」下車、中央バス2番乗り場から「空沼線」または「滝野線」に乗車、「芸術の森センター」または「芸術の森入口」で下車

詳細 芸術の森美術館 ☎591-0090



札幌 子どもアトリエ

検索



やまびこ座
こぐま座

〔詳細〕
子どもの権利推進課
☎211-2942

劇を見て物語の世界へ旅に出る——
想像力と優しい心を育む子どもの劇場



人形劇

人形劇などを通して、子どもの想像力や思いやりの心を育むための施設です。
やまびこ座は、人形劇や人形浄瑠璃、児童劇など本格的な舞台が見られる劇場。絵本や子ども向けの本を置く図書コーナーもあり、公演が無い日でも楽しめます。

一方、こぐま座は人形劇専門の小さな劇場。舞台との距離が近く、演者の息づかいを感じる事ができます。
やまびこ座は25年、こぐま座は30年以上にわたり、子どもたちの心に響くあたたかい劇を上演し続けています。



人形浄瑠璃



児童劇

人形劇づくりに携わっているスタッフから

多くの子どもたちに人の優しさやあたたかい心を伝えたい

劇が始まると子どもたちの目がくぎ付けになり、反応を肌で感じられるのが楽しみで舞台に立っています。物語の中に入り込んだような感覚になるところが人形劇の魅力。子どもも大人も思わず夢中になる人形劇を、一緒に楽しみましょう。



やまびこ座館長
やぶき ひでたか
矢吹 英孝さん

注目!!

やまびこ座、こぐま座で人形劇を見てスタンプを3個集めると指人形が1個もらえます。



やまびこ座

所在地 東区北27東15
交通機関 地下鉄東豊線
元町駅下車。徒歩5分
詳細 ☎723-5911



こぐま座

所在地 中央区中島公園内
交通機関 地下鉄南北線中島公園駅下車。徒歩1分
詳細 ☎512-6886

開館時間 9時～17時
両館共通 休館日 月曜(祝・休日の場合は翌日)

※こぐま座は8/19(月)～9/24(火)の間、改修のため休館します。
※やまびこ座、こぐま座の公演情報は、本誌18ページをご覧ください。

やまびこ座・こぐま座

検索



PMF2013リンクアップ・コンサート

7/22(月)14時
無料・直接会場へ

市内6校の小学6年生が、PMFオーケストラと歌やリコーダーで共演。子どもたちが、本格的な音楽に触れ、共に音を奏でる喜びや楽しさを体感できる場として、今年から新たに企画されたコンサートです。

会場 Kitara(中央区中島公園内)
詳細 PMF組織委員会 ☎242-2211



ファースト・コンサート / こころの劇場

本格的な劇や音楽に触れ、豊かな感性を育むために、小学6年生を学校単位でKitaraが主催するコンサートや劇団四季のミュージカルに招待しています。

詳細 市民文化課 ☎211-2261



劇団四季「こころの劇場」
「はだかの王様」(本年度観劇予定)

子ども自身が遊びをつくる——
誰でも集える野外の遊び場

冒険あそび場
プレーパーク

単に公園の遊具で遊ぶのではなく、子どもが創造力を働かせながら遊びをつくり出せる場「プレーパーク」。ここでは穴を掘ったり、木に登ったり、時にはどろんこになりながら、自分のしたいことに挑戦できます。

子どもの自由な発想を大切にするために、禁止事項をできるだけ少なくし、子どもの好奇心をかき立てる道具を取り入れるなどの工夫もしています。こうした取り組みが札幌に広がり始めたのはここ数年のこと。子どもの創造性を育む場として注目されています。

〔詳細〕
子どもの権利推進課
☎211-2942

プレーパークとは

どんなところ？

子ども自身が、屋外で思い思いの「遊びづくり」を楽しみます。

何ができるの？

木の枝やロープ、段ボールなどを使って自由に遊びます。

どこでやってるの？

市内の大きな公園を中心に開催しています。

危なくないの？

遊び場の安全を見守り、活動を支える大人のスタッフがいます。

プレーパークスタッフから

自由な発想で
思いっきり
遊んでほしい

さいとう じゅんこ
斎藤 順子さん

“面白い”と感じることを思う存分できることは、子どもの成長にとって大切なこと。遊んでいる子どもの顔は本当に生き生きしていますよ。見守っている大人も一緒に楽しみながら、地域で子どもたちを育てていけるといいですね。



楽しみがいっぱい！

新しい遊びを思い付いた時は、発明家になった気分！木にロープを張った綱渡りや段ボールを使った基地作りなど、わくわくすることがたくさんできるよ。



なかむら けんた
西岡公園のプレーパークに参加した 仲村 拳汰くん

プレーパークは、円山公園（中央区）や西岡公園（豊平区）など市内各所で実施しています。

開催場所や時間など詳しい情報は、区民センターや児童会館、まちづくりセンターなどで配布中のパンフレットやホームページをご覧ください。

札幌 プレーパーク

検索

子どもの心豊かな成長のために

美術鑑賞や自然遊びなど、日常と違った体験から生まれる感動や養われる創造性は、子どもの心を大きく成長させます。こうして磨かれた感性は、人間味豊かな大人になるための大切な財産です。この夏、子どもの感性を育む場所へ、出掛けてみませんか。

みんなの声を届けよう！

市では、さまざまな場面で子どもの意見を生かす取り組みを進めています。現在、下記の2つのテーマについてアイデアを募集しています。

提案・意見
募集中！

テーマ1

閉校した小学校で、どんなことをやってみたい？

テーマ2

札幌の博物館を楽しくするアイデアを聞かせて！

対象 小学5年～高校3年

応募方法 区役所、各学校で配布中の応募用紙を、7/31(水)まで。ホームページからも応募可能。

札幌 子ども みんなの声

検索